

創立10周年記念 式典・講演・祝宴

日 時 1993年6月4日（金）

受 付 15:40～16:00
式 典 16:10～17:00
記念講演 17:10～18:20
祝 宴 18:30～20:00

会 場 セントラルホテルフクオカ

式典 珊瑚の間（B1F）
祝宴 ダイヤモンドの間（3F）

スケッチ・その日の4時間

九州地方にも梅雨入り宣言が行われ、天候が心配されたが、福岡北ロータリークラブ創立10周年記念式典当日はお天気にも恵まれ、式典や祝宴は以下の通り、とどこおりなく行われた。

平成5年（1993）6月4日（金）、快晴とは言い難いが梅雨中としてはところどころ、青空も見える好天気。ひとまず、ほっと胸をなでおろす。

15時40分、受け付け開始。まず、会員が次々に登録開始。

そのうち、各来賓もご来駕。次第に会場は熱気をおびてくる。福岡北ロータリークラブ会員全員がこののために準備を進めてきた。その「10周年記念式典」はもうすぐ開幕なのだ…。

16時10分、定刻たがえず点鐘、式典は篠崎会員の司会・進行で開始された。会場はセントラルホテル地階、珊瑚の間である。



パストガバナー、新家忠男会員の開会の言葉によって幕が開かれる。

次いで、木曾信重・式典実行委員長の歓迎の言葉。森本茂雄ソングリーダーの指揮で君が代と奉仕の理想の齊唱。

さらに物故会員の追悼である。福岡北ロータリ

ークラブは特別代表の平野桂樹シニア会員、前田三男前会長、そして田中義明第4代会長などを失っている。その他、この10年間に増田耕会員と広瀬哲男会員が故人となった。溝部浩三シニア会員の追悼式辞でその大きな遺徳を偲び、しめやかにひときわ永い黙禱を捧げる。

次に葉山孝会長による来賓及び出席者紹介。そして会長挨拶。

来賓挨拶はまず福岡市長・桑原敬一氏の挨拶文を、加藤竺子助役が爽やかな声で代読。

次に川村謙二ガバナーの祝辞。福岡北ロータリークラブが会員の手づくりによって進められてきたことを称えて下さる。

記念事業委員長の本田恵会員が事業報告を行い、関係者による贈呈式、表彰式などへ移る。その内容は次のとおり。

- (1)福岡こども病院ヘビデオライブラリー贈呈。
- (2)ボーイスカウトへ記念品(野外活動用テント)贈呈。
- (3)故・平野桂樹夫人美代子さんに対するボーイスカウト団からの感謝状贈呈。
- (4)ボーイスカウト福岡第14団委員長、簇島晋氏から北クラブへ感謝状贈呈。
- (5)ボーイスカウト・ローバー隊による返礼の弥栄。
- (6)故・平野桂樹夫人美代子さんへ北ロータリークラブから感謝状、記念品贈呈。
- (7)スポンサークラブ・福岡城西ロータリークラブへ感謝状贈呈。
- (8)10年皆出席者表彰。

続いて高尾勝幹事による祝電披露。有田昭穂副会長の閉会の言葉で式典は全てとどこおりなく終了。予定の時間を10分ほど越えて、17時10分、記念式典は閉会した。

10分の休憩時間経て、記念講演である。

亀崎重則会員の司会で開始は17時20分。元R.I理事の末永直行氏が講師である。演題は「ロータリー・ルネッサンスへの夢」。ロータリークラブの会員をオーケストラのメンバーにたとえ、会員

一人一人が立派なソリストで、かつオーケストラの構成員でなければロータリークラブはうまくオーケストレーションがとれないと、絶妙の講演を披露された。末永氏は予定の18時20分にきっちり講演を終えられ、見事な時間管理の腕も見せられた。

18時30分、会場をダイヤモンドの間に変えて祝宴開始。

神代啓司祝宴担当委員長の司会で祝宴がスタート。荒木勉総務委員長の開会のことばで華やかな夜のとばりが開かれた。

福岡城西ロータリークラブ・後藤照男会長の来賓祝辞のあと、福岡ムジカーブライスの皆さんとの柔らかな弦楽四重奏曲を聴き、川村氏、末永氏、葉山会長、木曾シニア会員、ミッシェル・ルーヨ名譽会員らによって鏡割り。そして、新家パストガバナーの音頭取りで乾杯、歓談に移った。途中、おなじみの森部貴子さんの美しい独唱に酔い、歓談の雰囲気は大いに盛り上がって、閉会予定の20時前に、全員手をつないで、「手に手つないで」を合唱。大塚元会長の「今日、手をつなぎあったその手のぬくもりを忘れないで新しい十年へ進んでいこう」という言葉で、半日にわたる熱い10周年記念式典の幕が下りた。福岡北ロータリークラブを永きにわたって支えてくださった方々、そして会員諸兄…本当に有難うございました。

